

The Expert



平成22年12月10日発行

● 放射線科 寺原 敦朗 教授（昭和61年・東京大学卒）

放射線治療の進歩と当科における取り組み

東邦大学医療センター大森病院放射線科治療部門に勤務しております。放射線治療（腫瘍学）を専門としております。この6月に約3年ぶりに東邦大学に戻って参りました。またどうぞよろしくお願い申し上げます。

放射線治療はご存じの通り、癌治療3本柱の一つであり、根治から手術の補助療法、症状緩和まで幅広い適応を有する癌診療には欠かせない治療となっています。また、最近の放射線治療は以前に比べて格段に進歩してきており、周囲の正常組織への線量を低減しつつ、腫瘍部に十分な量の照射を行うことが可能となってきており、有害事象の軽減および治療成績の向上につながっています。当院においては、最近では年間500人近い患者さんの治療を施行しており、全ての悪性腫瘍を対象としておりますが、なかでも肺癌や乳癌の症例が多く、その他、頭頸部癌や前立腺などの泌尿器系癌、食道癌、直腸癌なども多く治療しております。治療中の患者さんに対しては、専門の看護師によるきめ細やかな肉体的、精神的なケアも行っております。

私の以前在籍していた東京大学では、いち早く3次元原体照射や定位手術的放射線照射などの最新技術を取り入れ、高精度放射線治療に取り組んできました。その経験を生かして、当院でも線量分布の改善のために、3次元原体多門照射や小照射野追加などの工夫を凝らした治療を行っております。さらに本理学部出身の医学物理士がこの4月に赴任し、診療放射線技師と協力して、日々の放射線治療の質を管理するとともに、最新の治療法である強度変調放射線治療（IMRT: intensity modulated radiation therapy）の開始に向けて準備を進めております。また、放射線治療システムの更新による画像誘導放射線治療（IGRT: image guided radiotherapy）や、呼吸性移動にも対応した4次元放射線治療の導入も視野に入れております。

このように放射線治療自体は目覚ましい進歩を遂げてきていますが、実際の診療にあたって最も重要なポイントのひとつは、放射線治療の必要な患者さんに適切なタイミングで治療を行うことでもあります。そのためには、皆様方から患者さんをご紹介いただかなくてはなりません。当院の癌診療に関わる関連各診療科とも連携協力し、最適な治療を提供できるように努めておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

寺原 敦朗 教授：月曜日・火曜日午前
水曜日午後・金曜日

医療機関専用電話

パートナー

03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 9:00~17:00、土曜 9:00~14:00)

(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター